講義名	海外経済事情				
科目区分	学部フリーゾーン				
担当教員	辻　美代				
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 ４時限		授業形態		
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース／2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース／2019年度 人間社会学部 人間健康学科／ 2019年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース／2019年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース／2019年度 人間社会学部 観光学科／				
履修開始年次	２年生	単位数	2	備考	

主題と概要

第二次世界大戦後、戦争の反省から世界の経済構造が大きく変わり、世界経済は大きくは拡大した。授業では戦後の世界経済の成長を確認しながら、その要因を考える。とりわけ、現在GDP世界2位の大国に成長した中国をはじめとしたアジア諸国の急成長を考える。
また、戦後世界経済の成長を大きく促進した冷戦終了の意味について考える。冷戦終了による「グローバル化」の促進により、世界経済は相互依存関係が深まった。経済の相互依存関係の恩恵を受け、中国は急成長してきたが、現在、米国と中国は経済覇権をめぐって対立を見せるようになった。次世代技術覇権をめぐり米中は対立を深めているが、米中対立は中国と関係の深い日本経済、さらには世界経済に深刻な影響を与えいる。
授業では、戦後世界経済の成長を俯瞰し、これからの経済を展望したい。また、各国・地域の個別経済事情も紹介する予定である。

到達目標

学生は、
①戦後世界経済の発展について分かるようになる。
②冷戦後の「グローバル化」について分かるようになる。
③戦後「東アジアの奇跡」と欧米から驚嘆されたアジアの経済発展メカニズムの概略が分かるようになる。

提出課題

授業中に配布した資料を纏めたり、また、次回授業の予習として課題を出します。全て授業内に指示します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

小テストや中間試験を行った後、解答を示し、解説します。

評価の基準

平常点、中間・期末試験を総合して評価します。

・平常点（小テスト含む）・・・３０点
・中間試験 ・・・・・・・・・・・・・・２０点
・定期試験 ・・・・・・・・・・・・・・５０点

履修にあたっての注意・助言他

先ず、日本に対して興味関心を抱くこと。自国への理解なく、他国への理解は不可能です。世界の中で自分たちが生活していることを実感しましょう。そして、テレビ・新聞・雑誌などを通じて様々なニュース、関連情報を取得するようにして下さい。

教科書

. 教科書は使用しない。.

プリント資料及び参考文献

プリント資料を配ります。
また、授業の中で参考文献を紹介します。

授業計画

１．授業の主題と世界経済の現状
２．戦後の経済構造の変化①
３．戦後の経済構造の変化②
４．冷戦終了の意味①
５．冷戦終了の意味②
６．中間まとめと小テスト
７．NIESの発展①
８．NIESの発展②
９．中国の経済発展①
１０．中国の経済発展②
１１．SAEAN経済共同体について
１２．EUについて
１３．グローバル化と反グローバル化
１４．米中関係について
１５．まとめ
※学生の要望により、また、状況により計画を変更します

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）
○	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート
	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション
	カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：授業中に指示します・・・２０分
復習：授業で習ったことを、もう一度まとめ直してください・・・３０分
課題：授業中に指示します。図書館やインターネットで調べ、纏めてください・・・２時間

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考